

第116回
第117回

スポーツを語り合う会

主催：日本スポーツ学会、NPO法人スポーツネットワークジャパン 協力：上野直彦、AGI Sports Management株式会社

1964年の東京を振り返り、2020年へ向かう日本を考える
特別W企画 スポーツを愛する方々、ぜひご参加下さい！！

第116回 2019年4月13日（土）開催

講師 玉木 正之 × ロバート・ホワイティング
1964年の東京を知る2人が、秘蔵の画像や映像を用いながら、当時から今日までの日本人と日本社会の変化を検証する。



玉木 正之
スポーツ・文化評論家

東京大学教養学部在学中より東京新聞紙上で執筆活動を開始。日本で最初のスポーツライターを名乗る。著書に「スポーツとは何か」（講談社現代新書）など多数。訳書にR・ホワイティング「ふたつのオリンピック」（KADOKAWA）、「和をもって日本となす」（角川文庫）など。



ロバート・ホワイティング
作家・ジャーナリスト

1942年、米国生まれ。日本人、日本文化に精通。77年に「菊とバット」（早川書房）、99年に「和をもって日本となす」（角川文庫）がベストセラーとなる。「東京アンダーワールド」（角川文庫）など著書多数。2018年に「ふたつのオリンピック（KADOKAWA）」を刊行し話題となる。

第117回 2019年4月20日（土）開催

講師 師岡 文男 コーディネーター 長田 渚左
日本写真家協会賞を受賞した師岡宏次（講師の父）が弟子17名と共同制作した『1964年東京オリンピック・カラー記録映画』を上映。2020年を語る。



師岡 文男
上智大学教授・スポーツ庁参与

ラグビーワールドカップ2019組織委員会顧問。東京2020機運醸成意見交換会委員。ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会委員・参与。JOC総務委員。日本ワールドゲームズ協会執行理事。GAISF国際スポーツ団体連合元理事。



長田 渚左
ノンフィクション作家

日本スポーツ学会代表理事。スポーツ総合誌「スポーツゴジラ」編集長。女性スポーツライターの草分け。主な著書に「桜色の魂 チャスラフ スカはなぜ日本人を50年も愛したのか」（集英社）、「復活の力 絶望を栄光にかえたアスリート」（新潮新書）、「こんな凄い奴がいた」（文春文庫）など多数。

日時：2019年 4月13日（土）・20日（土）

各回とも 14：30～（開場 14：00）

20日は講演会開始前に2019年度総会が15分ほどあります。
日本スポーツ学会会員の方は、総会よりご参加願います。

会場：（株）白寿生科学研究所 本社ビル2階 大研修室
東京都渋谷区富ヶ谷 1-3 7-5
東京メトロ・千代田線「代々木公園駅」より徒歩5分

参加費：各回とも1,000円（日本スポーツ学会会員は無料）

定員：80名（当日先着順、事前申込は不要です）

お問い合わせ：sports.gakkai@gmail.com（日本スポーツ学会）
03-3323-0893（スポーツネットワークジャパン）

上記連絡先以外へのお問い合わせはご遠慮ください。
不在の場合はご連絡先を留守番電話にお入れください。
その際、ゆっくりとお話いただきますようお願いいたします。
後ほど、こちらからご連絡を差し上げます。